

## 寅さん歩 その 26

### 東京の主要道路の起点～終点

#### 清澄通り－1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」と歩いてきました。

今回は「清澄（きよすみ）通り」を歩きます。清澄通りは墨田区吾妻橋一丁目交差点から中央区勝どき陸橋交差点に至る延長約 8 km の道で東京都指定名勝の清澄庭園の脇を通過します。写真上右は清澄通り起点の道路名標識（都道 453 号線）です。途中で道路番号は変わります。「清澄」の地名は江戸時代干潟であったこの地を開拓した 6 人の一人の「清住弥兵衛」に由来しているとのことです。当初の地名は「弥兵衛町」、その後は「清住町」と呼ばれました。清住弥兵衛の出身地が安房国清澄町（現在の千葉県鴨川市）であることから町名も「清澄町」が定着したそうです。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前に訪問時の写真もあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

**[吾妻橋一丁目交差点]** 墨田区吾妻橋一丁目

最寄駅 都営地下鉄浅草線 本所吾妻橋駅

吾妻橋一丁目交差点（写真下左）は清澄通りの起点で、右から来る浅草通り（都道 453 号線）としばらく重複して左方向に進みます。写真下の右上の道は墨堤通り（都道 461 号線）の起点で墨田区役所方面へ向かいます。



墨堤通りの手前は吾妻橋に向かう道です。  
吾妻橋を渡ると台東区に入ります。  
隅田川が墨田区と台東区の区境です。  
吾妻橋・駒形橋については寅さん歩 425  
江戸通りー2 をご覧ください。

### [駒形橋交差点] 墨田区東駒形一丁目

最寄駅 都営地下鉄浅草線 浅草駅

清澄通り（都道 453 号線）は駒形橋交差点（写真下右）で斜め左方向の月島・門前仲町方面へ向かいます。斜め右方向は都道 463 号線で駒形橋を渡り上野方面に向かいます。



### [本所一丁目交差点] 墨田区本所一丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 蔵前駅



本所一丁目交差点（写真上右）で春日通り（都道 453 号線）と交差します。春日通りは左の横川方面から来て、交差点を進み、厩橋を渡り、本郷方面へ向かいます。ここから清澄通りは都道 463 号線となり月島方面に直進します。厩橋については寅さん歩 386 春日通りー3 をご覧ください。

## [徳之山稲荷] 墨田区石原一丁目 最寄駅 都営地下鉄大江戸線 両国駅

歩いていると「史跡 日本左衛門首洗井戸跡 徳之山稲荷神社」の案内板があったので、左の小道を入りました。すぐ左に徳之山稲荷神社（写真下左）があり、入ると右に日本左衛門首洗い井戸（写真下右）がありました。徳之山稲荷神社は江戸時代初期に本所・深川の開発事業を推進した本所築地奉行 徳山五兵衛重政の屋敷跡で稲荷社は屋敷神として祀られていました。五兵衛の没後、その徳を称えた人々により御霊が合祀され、徳之山稲荷神社になりました。日本左衛門とは江戸初期の浪人の異名で、本名は濱島庄兵衛、諸国を荒らしまわった盗賊の一味で、捕らえられ獄門になりました。歌舞伎の白浪五人男の一人 日本駄右衛門のモデルとのことです。



## [石原一丁目交差点] 墨田区石原一丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 両国駅





石原一丁目交差点（写真上右）で蔵前橋通り（都道 315 号線）と交差します。左へ行くと市川橋方面、右へ行くと本郷方面です。清澄通りは直進します。

## [横網町公園・復興記念館] 墨田区一丁目横網

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 両国駅

石原一丁目交差点の右奥は「横網町公園」です。寅次郎、当初は国技館が近いので横網町を横綱町と勘違いしていました。地名の由来は江戸時代初期に海苔干し場があり海苔採りの網を干していた風景からついたとの説です。

横網町公園は陸軍被服本廠跡地で 1922 年（大正 11 年）被服本廠が赤羽に移転後に東京市が公園用地として買収しました。公園整備工事中の 1923 年（大正 12 年）9 月 1 日関東大震災が起これ、下町一帯の避難場所になりました。震災後の大火災で避難した 38,000 人の方が亡くなり、遺体はここで火葬され、仮の慰安堂で会葬されました。1930 年（昭和 5 年）慰安堂が完成、横網町公園も開園しました。東京大空襲による多くの被災者も会葬され、1951 年（昭和 26 年）

「東京都慰安堂」（写真下左）が完成しました。毎年 9 月 1 日と 3 月 10 日に大法要が行われます。1931 年（昭和 6 年）東京都は関東大震災犠牲者を追悼し、また不言の警告を将来に残そうと「東京都復興記念館」（写真下右）を建設しました。併せて東京大空襲の戦災関係の資料も保存・展示しています。



寅さん歩 336 東京の博物館めぐりー23 墨田区ー4 をご覧ください。

## [本所七不思議 置いてけ堀]

横網公園を出て、すぐ右側の日大一高・中の前に案内板（写真下左）がありました。案内板には本所七不思議の一つ、「置いてけ堀」の話が書かれています。



『この辺りには、幕府の資材置き場だった御竹蔵があり、その周りには堀割がありました。ある日、町人がこの辺りの堀で釣りをしたところ、たくさんの魚が取れたので、気をよくして帰ろうとすると、堀の中から「置いてけ！」という怪しい声がしました。逃げるように家に帰って、恐る恐る魚籠を

覗くと、釣れた魚が一匹も入っていませんでした。話の内容や場所には諸説がありますが、1789年～1801年（寛政年間）に作られたものといわれ、七つ以上の話が伝えられています』と記載。

## [江戸東京博前交差点] 墨田区一丁目横網

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 両国駅

江戸東京博前交差点（写真下左）の左への道は北斎通りです。江戸時代後期の浮世絵師 葛飾北斎(1760～1849)はこの近くで生まれ、「すみだ北斎美術館」があります。写真下右は1993年（平成5年）3月開業の「東京都江戸東京博物館」で江戸・東京の歴史・文化が学べられますが、2022年4月から耐震化工事で2025年（予定）まで休館です。以前に訪れた**寅さん歩 335 東京の博物館めぐりー22 墨田区一3**をご覧ください。江戸東京博物館の隣は国技館ですが、立ち寄らずに交差点を直進します。

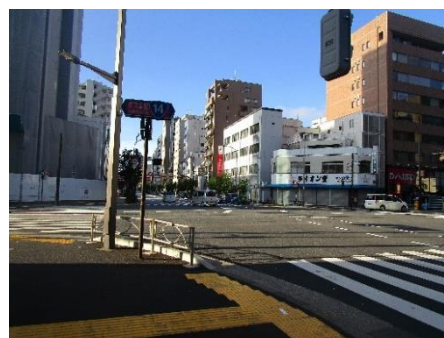


## [緑一丁目交差点] 墨田区緑町一丁目

最寄駅 JR総武線 両国駅

総武線のガードをくぐると緑一丁目交差点（写真下右）です。京葉道路（国道14号線）と交差します。左へ行くと千葉方面、右へ行くと日本橋方面です。

交差点右角の「ライオン堂」はお相撲さんご愛用の衣料のキングサイズのお店です。



右側の両国四丁目は幕末の政治家「勝海舟(1823～1899)生誕の地」で、現在は「両国公園」になっています。

## [小林一茶居住の地] 墨田区緑一丁目 最寄駅 JR総武線 両国駅

豎川の手前に「小林一茶居住の地」の案内板がありました。江戸時代後期の俳人小林一茶(1763～1827)は信濃国(現在の長野県)で生まれ、3歳で母と死別し、継母との不和で15歳で江戸に奉公に出て、苦労を重ねながら俳諧に親しみました。1804年(文化元年)から5年間この地に住みましたが、旅の留守中に借家は他人に貸されてしまいました。1813年(文化10年)故郷に戻りました。生涯の作品数は約2万句とのこと。

## [豎川] 墨田区立川一丁目 最寄駅 JR総武線 両国駅

「豎川」は江戸城に向かって縦(東西)に流れることからこの名称になった旧中川と隅田川を東西に結ぶ運河です。全区間が首都高速7号小松川線に覆われている状態(写真下左)です。開削後すぐに隅田川(大川)から順に一之橋から六之橋まで単純に番号をふった橋が架けられました。





これらの橋は通称「一ツ目橋」、「二ツ目橋」・・・などと呼ばれ、後に「三ツ目橋」を通る道は「三ツ目通り」、「四ツ目橋」を通る道は「四ツ目通り」と呼ばれました。なお、「二之橋」（写真上右）を通る道は現在の清澄通り、「五之橋」を通る道は現在の明治通りです。「六之橋」は現在ありません。流域の地名が「立川」となっているのは当時、「堅」が当用漢字になかったためとのことです。

## [森下駅前交差点] 江東区森下一丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 森下駅

森下駅前交差点（写真下右）の手前から江東区に入ります。森下駅前交差点で新大橋通り（都道 50 号線）と交差します。左へ行くと船堀方面、右へ行くと新大橋です。



今回はここまでとします。

## [バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。

全行程約 600 里 (約 2400 km) の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川（現在の江東区深川）を出発、2022 年 12 月 3 日 鶴岡（現在の山形県鶴岡市）の手前 43 km 地点（江戸深川から 1048 km）に到着しました。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝